

2021 年度事業報告書

自 2021 年 12 月 1 日

至 2022 年 11 月 30 日

【目的及び事業】 定款 第 2 章第 3 条・第 4 条より

(目的)

第 3 条 当法人は、空間ディスプレイ分野を志す学生、研究者および研究機関等を支援することを通して空間ディスプレイに対する理解の啓発と浸透、空間ディスプレイによる社会貢献の可能性を広げ、もって、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 当法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- ① 日本国内の大学生に対する奨学金の給付事業
- ② 空間ディスプレイに関する研究者および研究機関等に対する研究助成事業
- ③ 空間ディスプレイに関する表彰事業
- ④ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

I. 事業の状況

1. 奨学金支給事業

名称：NCF 奨学金事業

(1) 募集

① 募集対象

奨学金制度の趣旨（「奨学生募集要項」より以下抜粋）に則り、財団指定大学から推薦を受けた新入学生を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 応募時期

2022 年 4 月 1 日～5 月 23 日

③ 応募件数

5 大学 8 名

④ 選考経過

2022 年 5 月 24 日、財団事務局選考を経て、2022 年 6 月 7 日、財団奨学金事業選

考委員会による選考が行われ、8名が採択された。2022年7月5日、財団理事・評議員会が開催され、8名の採用が承認された。

(2) 採用

奨学生の採用人数（2022年4月入学）および奨学金給付

① 採用 5大学8名採用。（以下内訳）

芝浦工業大学	1名
東京都立大学	3名
東京造形大学	1名
多摩美術大学	2名
武蔵野美術大学	1名

② 給付金 1名あたり85万円（以下内訳）

一律月額5万円、入学一時金25万円

継続の場合 2年生～4年生 年間60万円（月額5万円×12か月）給付予定。

(3) 授与

2022年7月5日、奨学金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した3名に財団理事長より認定書が授与された。都合により欠席となった5名は、メッセージを寄せ参加した。

(4) 次回募集開始

対象 2023年4月入学生

募集開始 2022年8月より財団ホームページにおいて、次年度の奨学生募集要項の公開を開始した。

2. 助成金支給事業

名称：NCF助成金事業

(1) 募集

① 募集対象

助成金制度の趣旨（「助成金事業募集要項」より以下抜粋）に則り、当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す大学の研究室および当財団が示す空間ディスプレイ分野および関連の教育普及事業(博物館展示を含む)を行う、学会・博物館を対象とした。

(抜粋) 乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 募集開始

2021年9月より、ポスター・チラシの配布および財団ホームページ掲載

③ 応募時期

2021年12月6日～12月10日

④ 応募件数

6件

⑤ 選考経過

2021年12月14日、財団事務局にてとりまとめ、2022年1月27日、財団助成金事業選考委員会による選考が行われ、5件が採択された。2022年2月21日、財団理事・評議員会が開催され、5件の採用が承認された。

(2) 採用

採用件数 5件 給付金総額 250万円

2022年助成金給付認定者

助成区分	申請者および研究機関・代表者	担当者	テーマ
研究助成	東北大学 大学院工学研究科 五十嵐太郎研究室 教授 五十嵐太郎	博士後期課程 菊地尊也	商業施設で開催された建築展覧会の史的 戦後からポストバブルまでの《ディスプレイの インフラストラクチャ》に着目して
研究助成	東洋大学 ライフデザイン研究科人間環境デザイン専攻 櫻井義夫研究室 教授 櫻井 義夫	研究助手 木村才人	アドルフ・ロースの空間展示 リアルとアンリアルな表現による空間体験方法の研究(Ⅱ)
教育普及 活動助成	東京大学農学部農学資料館 教授/大学院農学生命科学研究科長・農学部 長 堤 伸浩	特任教授 棚橋沙由理	地球の持続可能性に向けたローカルから グローバルまでの農学 ～展覧会「One Earth as Commons」の 開催を目指して～
教育普及 活動助成	公益財団法人東京動物園協会 井の頭自然文化園 理事長 今村保雄	学芸員 土方浦歌	朝倉文夫と北村西望 二人の関係性
教育普及 活動助成	福岡市科学館 館長 矢原徹一	サイエンスコミュニケーター 林 千恵	福岡市科学館基本展示室内クイ エティブアワードおよび キッズクルー事業

(3) 授 与

2022年7月5日、助成金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した3件の代表3名に財団理事長より認定書が授与された。都合により欠席となった2件は、担当者によるメッセージを寄せ参加となった。

(4) 次回募集開始

- ① 対 象 活動期間 2023年4月～2024年3月の研究及び教育普及活動
- ② 募集開始 2022年8月より財団ホームページにおいて、次年度の助成金事業募集要項の公開を開始した。
- ③ エントリー締切 2022年12月9日
- ④ 応募受付期間 2022年11月28日～12月13日

3. 表彰事業

名称：学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイアワード

(1) 募 集

① 募集対象

日本全国に所在する大学の2022年3月卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるものを対象に募集を開始した。

② 募集開始

2021年9月

③ 応募時期

2022年4月1日～4月18日

④ 応募件数

28件

⑤ 選考経過

2022年6月7日、財団表彰事業選考委員会にて、最優秀賞1作品、優秀賞4作品、奨励賞4作品の受賞が内定し、同年7月5日、2021年度第3回評議員会および2021年度第5回理事会にて、承認された。

(2) 採 用

最優秀賞	1作品	40万円
優秀賞	4作品	各25万円
奨励賞	4作品	各15万円

2022表彰事業 学生卒業設計・制作 NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

審査結果	区分	作品テーマ	申請者 (制作者)	大学
最優秀賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	積乱の橋梁区	長井一乃眞	東京電機大学
優秀賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	また来てくれんさいなー高山陣屋前広場における「新しい朝市」ー	小田唯加	大同大学
優秀賞	Ⅲエンターテインメント・ディスプレイデザイン	八ツ沢水力発電所美術館	石黒裕美	多摩美術大学
優秀賞	Ⅱ生活ディスプレイデザイン	創造の楼閣	高塚玲菜	東京電機大学
優秀賞	Ⅱ生活ディスプレイデザイン	空間を織る～着飾り、繕う建築～	木村華	東北工業大学
奨励賞	Ⅰ商業ディスプレイデザイン	ここか	大野彩佳	多摩美術大学
奨励賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	隔田川のストリートパーク	李豪	多摩美術大学
奨励賞	Ⅱ生活ディスプレイデザイン	品種改良的模型生成 -心理測定実験を基にアップデートするオブジェクト指向-	兼松光輝	大同大学
奨励賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	みのじ再織 -起におけるノコギリ屋根工場の新保存提案-	木全彩弥花	大同大学

(3) 授与

2022年7月5日、表彰状の授与式が執り行われた。授与式には、受賞した9作品9名全員が出席し、財団理事長より表彰状が授与され、7月28日、受賞者出身大学へ賞金が授与された。

(4) 次回募集開始

- ① 対象 2023年3月卒業生の卒業設計制作作品
- ② 募集開始 2022年8月より財団ホームページにおいて、次年度の表彰事業募集要項の公開を開始

- ③ エントリー締め切 2023年3月10日
- ④ 応募受付期間 2023年3月13日～4月14日

4. 助成金および表彰事業の広報活動

2022年8月より、財団ホームページに募集要項を公開、9月にチラシの配布、対象機関へのメールによる案内通知等を行った。更に、募集記事の教育学術新聞（日本私立大学協会発行）掲載、公益財団法人日本博物館協会 HP および日本ミュージアムマネジメント（JMMA）学会 HP への募集概要掲載など外部団体を通じて広報活動をおこなった。

附属明細書

当年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。